

表2 新国民生活指標（PLI）体系表（各指標は原則的に対象人口比）

（平成7年試算）

活動領域	安全・安心	公正	自由	快適
住む	<ul style="list-style-type: none"> ○危険・修理不能住宅比率 [-] ○最低居住水準以上住宅比率 ○借家の1世当たり実質家賃 [-] ●住宅ローン返済額比率 [-] ○持家比率 ○公害苦情受理件数 [-] ○刑法犯認知件数 [-] ○交通事故発生件数 [-] ○建物火災出火件数 [-] ○ごみ衛生処理率 * 最寄りの医療機関500m未満住宅比率 <10.9> 	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅取得年取倍率 [-] ●土地資産格差 (ジニ係数) [-] 	<ul style="list-style-type: none"> ●世帯用借家の着工比率 	<ul style="list-style-type: none"> ○日照時間5時間以上住宅比率 ○歩道・自転車道延長距離（道路実延長比） ○最寄りの交通機関1km未満住宅比率 ○1人当たり都市公園面積 ○1人当たり畳数 ○下水道普及率
<18.15>		<2.0>	<1.0>	<5.6>
費やす	<ul style="list-style-type: none"> ◎1人当たり家計所得 ●年間収入（全世帯） ●消費者物価指数（総合） [-] ○消費者物価上昇率 [-] ○貯蓄年取比（全世帯） ●生命保険契約件数（全社合計） ○個人破産件数 [-] ○消費者危害情報件数 [-] <6.5> 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活保護世帯割合 [-] ○消費者物価地域差指数 [-] ●所得格差（ジニ係数） [-] 	<ul style="list-style-type: none"> ○サービス支出割合 ○小売店数（大型小売店を除く） ●小売店数 ○大型小売店数 ●百貨店数 ●消費者信用残高 ●キャッシュカード発行枚数 ○外食支出割合 	<ul style="list-style-type: none"> ●宅配取扱個数 ●通信販売売上高 ○耐久消費財支出割合 ●現金自動支払機設置台数 ○コンビニエンス・ストア数
<19.13>	<6.5>	<2.2>	<6.4>	<5.2>
働く	<ul style="list-style-type: none"> ○実質賃金（男女平均） ○失業率 [-] ○公共職業訓練施設数（15歳以上人口比） ●勤務延長・再雇用比率 ○転職率 [-] ●業務上疾病発生率 [-] ○労働災害発生率 [-] ○高校生の県外への就職率 [-] ●単身赴任比率 [-] <8.6> 	<ul style="list-style-type: none"> ○身体障害者比率（就業人口比） ●労働分離率 ●企業間賃金比率 ○男女の賃金格差 [-] ○女性管理職比率 ●若年層の高齢層に対する求人格差倍率 [-] 	<ul style="list-style-type: none"> ●年次有給休暇取得日数 ○転職率 [+] ○有効求人倍率 *フレックスタイム適用者比率 	<ul style="list-style-type: none"> ○超過時間比率 [-] ○実労働時間比率 [-] ○通勤時間 1時間以上世帯比率 [-] ●週休2日制適用労働者割合 ○家庭婦人家事労働時間数 [-] ●1人当たりオフィス面積 <6.4>
<23.14>	<8.6>	<6.2>	<3.2>	<6.4>
育てる	<ul style="list-style-type: none"> ○乳児死亡率（出生数比） [-] ●子供の成人病 [-] ●裸眼視力1.0未満者率 [-] ●保育所定員率（3～5歳人口比） ○保育所定員数（対象共働き世帯比） ○教員1人当たり児童・生徒数 [-] ●1学級当たり児童・生徒数 [-] ○教育費への支出割合 [-] ○長期欠席率（学校嫌い） [-] ○高等学校等への進学率 ○少年犯罪検挙人員（少年人口比） [-] ●育児休業制度実施事業所割合 ●校内暴力件数 [-] <11.7> 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童福祉施設数 ●母子相談員比率 	<ul style="list-style-type: none"> ◎幼稚園定員数（3～5歳人口比） ●幼稚園在籍率（3～5歳人口比） ○高等学校数（15～17歳人口比） ●1人当たり教育費支出に占める学習塾費用等の比率（公立小中学校平均） [-] 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童館数（3～11歳人口比） ○青少年教育施設数 ●紙おむつ生産数量 ○児童・生徒1人当たり校地面積
<19.13>		<2.1>	<3.2>	<3.3>
癒す	<ul style="list-style-type: none"> ○平均余命（0歳、65歳平均） ○有病率 [-] ○成人病死亡率 [-] ●国民医療費中の患者非負担率 ○保健医療費への支出割合 [-] ○一般病院病床数 ○救急告示病院数 ○医師数 ○看護士数 ○被保護老人比率 [-] * 痴呆性老人発生率 [-] * 介護休業制度実施事業所割合 ○養護・軽費老人ホーム定員数（65歳以上人口比） ○救急自動車平均取容時間 [-] <12.11> 	<ul style="list-style-type: none"> ●特別養護老人ホーム定員数（65歳以上人口比） ○身体障害者更生援護施設定員数（身体障害者手帳交付数比） * 差額ベッド数（総病床数比） [-] ◎ デイサービスセンター施設数（65歳以上人口比） <2.2> 	<ul style="list-style-type: none"> ○有料老人ホーム定員数（65歳以上人口比） * 差額ベッド数（総病床数比） 	<ul style="list-style-type: none"> * 寝たきり老人比率（在宅） [-] ○老人ホーム従事者数（65歳以上人口比） ○老人ホームヘルパー数（65歳以上人口比） ○身体障害者ホームヘルパー数（身体障害者手帳交付数比） <3.3>
<18.17>		<2.2>	<1.1>	<3.3>
遊ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ●海外渡航に伴う事故・被害者数（出国日本人数比） [-] ●夏季連続休暇実施日数 	<ul style="list-style-type: none"> ●法人交際費 個人消費 [-] 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光目的の出国日本人数 ○教養娯楽費への支出割合 ●新刊書籍発行種数 ●劇場・音楽会場等数 ○スポーツ施設数 ●レンタカー車両数 ●パチンコ店数 ○常設映画館数 ●公営競技施設団体数 ○衛星放送受信契約数 ◎カラオケボックス室数 ○ビデオレンタル店数 <8.8> 	<ul style="list-style-type: none"> ○趣味・娯楽の週平均時間 ◎自然公園面積比 ◎温泉地数
<12.11>	<2.0>	<1.0>	<8.8>	<1.3>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○大学入学者数進学希望高校生数 ○定時制高校生生徒比率（15歳以上人口比） 	<ul style="list-style-type: none"> ●育英会奨学生採用数 	<ul style="list-style-type: none"> ○大学院進学率 ○留学者数（15歳以上人口比） ●上級学校進学率 ○大学等進学率 ○上級学校学生数（人口総数比） * 民間生涯学習講座受講者 ○書籍・雑誌小売店数 ○成人一般学級受講者数 	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館数 ○博物館数 ○社会教育関係職員数 ○学習研究時間
<13.12>	<2.2>	<1.0>	<6.6>	<4.4>
交わる	<ul style="list-style-type: none"> ○離婚率 [-] ●有配偶合計離婚率 [-] ○婚姻率 		<ul style="list-style-type: none"> ◎離婚率 [+] ●有配偶合計離婚率 [+] ○未婚率 ○交際費への支出割合 ○奉仕的活動時間 ○共同募金金額 ○社会奉仕活動行動者率 ○老人クラブ加入率 ●婦人団体加入率 ●留学生受入数（高校生） ●青年海外協力隊参加者数 ●国際結婚件数 ●海外文通者数 ○一日交流可能人口（全国人口比） ○献血者数（15～64歳人口比） <14.9> 	<ul style="list-style-type: none"> ○交際時間 ○公民館数
<18.13>	<2.2>	<0.0>	<14.9>	<2.2>
<140.108>	<53.42>	<16.7>	<42.32>	<29.27>

（凡例） ○：時系列、都道府県別とも使用。●：時系列にのみ使用。◎：都道府県別にのみ使用。*：試算には用いていない。
 <>内の数値は、時系列試算及び都道府県別試算に用いられた指標の数を表わす。

（注） 用いた指標の合計個数は、時系列試算については140、都道府県別試算については108である。

■ 調査から

結果の概要

ゆたかさ指標は昭和55年を100.0としている。

また、都道府県の全国平均は50.0である。

なお、()内の矢印と数字は、前年試算値とのポイント差である。

1. 住む (101.70 ↓0.05)

平成5年は「下水道普及率」、「世帯用借家の着工比率」、「公害苦情受理件数」等が改善した。

しかし、「住宅ローン返済額比率」、「借家の1畳当たり実質家賃」、「刑法犯認知件数」その他が悪化し、全体の水準を引き下げている。

本県は、46.66で第43位。前年の47.74 (38位)から1.08ポイント低下している。

2. 費やす (105.19 ↑0.49)

平成5年は景気の低迷を反映して、「貯蓄年取比」、「外食支出割合」等の指標で悪化した。

しかし、「生命保険契約件数」、「消費者信用残高」、「所得格差(ジニ係数)」その他で改善したため全体としてプラスとなった。

本県は、53.89で第5位。前年の52.68 (9位)から1.21ポイント上昇している。

3. 働く (103.06 ↑0.02)

平成5年には「有効求人倍率」、「失業率」等の指標が悪化した。

他方では、「実労働時間数」、「労働分配率」、「超勤時間比率」等が改善し、全体の水準はわずかながら平成4年に比べ上がった。

本県は、49.84で第28位。前年の49.67 (26位)から0.17ポイント上昇している。

4. 育てる。 (102.71 ↑0.24)

順調に伸びる指標も多いが、全体の伸びが低くなっているのは、「子供の成人病」、「裸眼視力1.0未満者率」等子供の健康状態に関する指標が悪化していること、また、「教育費への支出割合」、「1人当たり教育費支出にしめる学習塾費等」といった教育にかかる負担が増加していること等が挙げられる。

平成5年は「育児休業制度実施事業所割合」、「高等学校等への進学率」その他のプラスが大きかった。

本県は、46.75で第34位。前年の46.19 (35位)から0.56ポイント上昇している。

5. 癒す (105.68 ↑0.45)

「保健医療費への支出割合」、「有病率」等は年々悪化する傾向にあるが、「老人ホームヘルパー数」、「身体障害者ホームヘルパー数」、「老人ホーム従事者数」等、サービスの質の向上に関わる指標の上昇幅が大きいいため、全体としては比較的高い伸びを示している。

平成5年についてもこれらの指標の伸びは高かった。

本県は、46.89で第40位。前年の46.98 (42位)から0.09ポイント低下している。

6. 遊ぶ (106.55 ↑0.71)

昭和60年以降の伸びが高くなっているのは、「海外渡航に伴う事故・被害者数」や「趣味・娯楽の週平均時間」がそれまでの悪化傾向から改善に転じた他、「ビデオレンタル店数」等の伸びが高くなったためである。

表5 「ゆたかさ」の都道府県別順位

	住む	費やす	働く	育てる	癒す	遊ぶ	学ぶ	交わる		
1	富山	東愛香	長富鳥	北岩	福熊島	東富長	石富東	山滋長	梨賀野	1
2	鳥取	愛香	富鳥東	岩秋	島宮石	長大北	富東福	滋長島	賀野根	2
3	山形	香山	鳥東石	徳島	宮石山	大北	長京	島福福	根井島	3
4	奈良	茨長	東石	和山	山京	高鳥	徳岡	石山	川形	4
5	北海道	石岐	福福	山福	山長	海高	徳岡山	山愛	媛馬	5
6	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	6
7	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	7
8	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	8
9	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	9
10	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	10
11	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	11
12	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	12
13	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	13
14	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	14
15	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	15
16	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	16
17	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	17
18	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	18
19	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	19
20	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	20
21	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	21
22	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	22
23	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	23
24	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	24
25	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	25
26	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	26
27	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	27
28	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	28
29	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	29
30	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	30
31	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	31
32	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	32
33	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	33
34	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	34
35	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	35
36	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	36
37	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	37
38	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	38
39	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	39
40	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	40
41	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	41
42	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	42
43	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	43
44	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	44
45	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	45
46	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	46
47	北海道	石岐	福福	山福	山長	高鳥	徳岡山	山愛	媛馬	47